

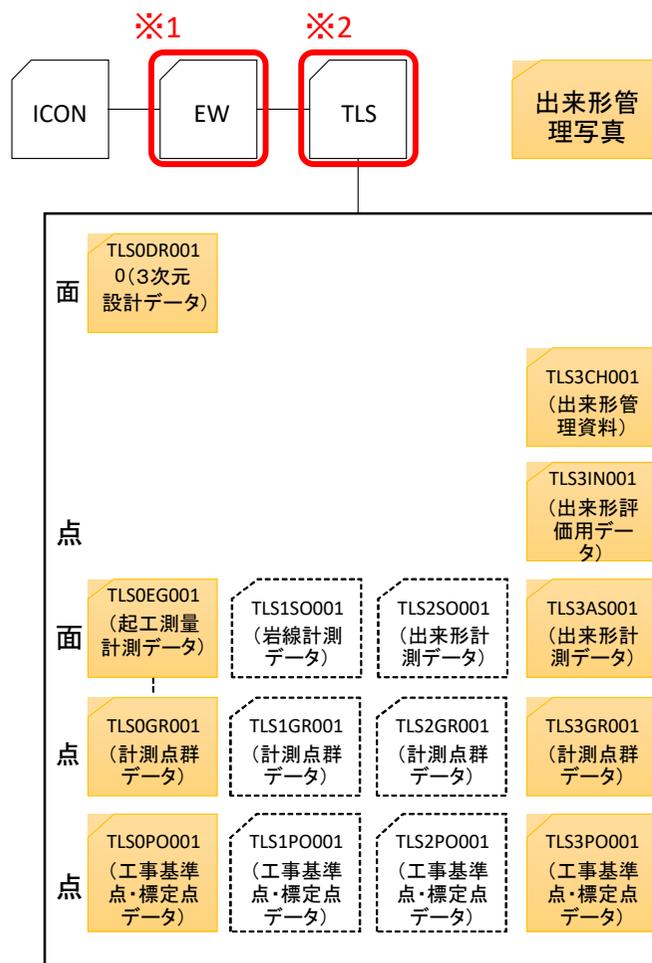
# 電子成果品等の作成

# 電子成果品

■ 電子成果品として、以下のデータを「工事完成図書の電子納品等要領」で定める「ICON」フォルダに格納する。

- ① 3次元設計データ
- ② 出来形管理資料
- ③ TLSによる出来形評価用データ
  - ・1m<sup>2</sup>に1点以上の密度に間引いた点群データ（CSV、LandXML、LAS等のポイントデータ）
- ④ TLSによる出来形計測データ
  - ・不要点を削除した点群データから作成したTINデータ（LandXML等のオリジナルデータ）
- ⑤ TLSによる計測点群データ
  - ・不要点を削除した点群データ（CSV、LandXML、LAS等のポイントデータ）
- ⑥ 工事基準点および標定点データ

※1: 工種(土工)を示した「EW」をのサブフォルダを作成する  
 (例) 舗装工の場合、各層の名称を示したサブフォルダを作成する  
 現況地形「ES」  
 下層路盤「GL」など  
 ※2: 計測機器の名称を記載する



## ここに注意

- ✓ 標定点データについては、起工測量、岩線計測、部分払い計測、出来形計測等、それぞれの標定点データを提出する。
- ✓ 格納するファイル名は、TLSを用いた出来形管理資料が特定できる名称とする。
- ✓ 出来形測量時のデータだけでなく、起工測量等の全データが対象となっている。